

左京区基本計画（第２期）への意見募集について

１ 意見募集の概要

募集方法 左京区役所，出張所，区内の大学，区内の主な公共施設，キャンパスプラザ京都での配架，左京区役所ホームページへの掲載，市政協力委員への送付等

募集期間 平成２２年１１月１日～１１月３０日

回答数 １１４件（３７人）

- ・ 性別 男性 １７人（４５．９％）
女性 １８人（４８．６％）
無回答 ２人（５．４％）
- ・ 年齢 ２０歳未満 ０人（０．０％）， ２０歳代 １人（２．７％）
３０歳代 １人（２．７％）， ４０歳代 ５人（１３．５％）
５０歳代 ２人（５．４％）， ６０歳代 １７人（４５．９％）
７０歳代 ６人（１６．２％）， ８０歳以上 ３人（８．１％）
無回答 ２人（５．４％）

２ いただいた御意見（概要）と御意見に対する考え方

計画の目標や取組指針，取組内容，具体的な取組例に関する御意見

◆議論の参考とさせていただいた御意見

いただいた御意見	御意見に対する考え方
・左京の特徴，強みをうまく表現した目標，取組指針，内容になっている。１０年後のあるべき姿も明確に示されており，分かりやすくてよい。	左京の魅力である自然，歴史・文化を生かし，区民の皆様との共汗により取組を進めていくため，分かりやすい目標等を設けた計画としています。
・右肩下がりのこの時代，行政だけでやることは限られている。その意味で，行政がやることに加え，協働ですること，区民一人ひとりができることも記載していることはいいことだと思う。	少子高齢化が進展し，高度成長が望めない社会状況を踏まえ，区民の皆様にも実行していただきたい取組も盛り込んだ共汗型の計画を目指して策定しています。
・「自然と調和した都市基盤整備」について，左京区は緑が多いので，その自然を生かした資源を日々の生活や仕事の中に使っていくことはとてもよいことだと思う。	左京区の豊かな自然資源を日々の生活や仕事の中で使うことを取組項目として掲げており，御意見の趣旨に合致していると考えます。

・計画は実行することを前提としている。行政及び区民は計画を実行するつもりで参画することを望む。	計画の推進に向けて、行政だけでなく、区民の皆様や事業者・大学等との協働により取組を実行して参りたいと考えます。
・多面的に網羅されていてよいと思う。これが問題なく実施されるためには、何よりも個人個人の連帯感の育成向上が必要である。今一番欠けている、個人間のつながりの強化が最重要課題である。	計画を推進していくため、区民の皆様との共汗の下、区民一人ひとりの連帯を深められるよう努めて参りたいと考えます。
・幼稚園、小学校、中学校、高校などでもっと定期的に寺社や自然に触れ合い、他校と交流できるような案があればよいと思う。	御意見の趣旨を踏まえ、自然とふれあいながら、自然や文化を次世代に伝える取組を進めていきたいと考えます。
・大変よくできている。これらをいかに具体化していくかが問題だと思う。啓発ポスターなどはあまり効果がないので、共汗で取り組むしかないが、自己中心的な人もいるのでなかなか難しいと思う。	区民の皆様との共汗の下、計画内容の具体化に向けて粘り強く取り組んで参りたいと考えます。
・区役所が松ヶ崎に移転するのに伴い、北泉通の高野川に橋がかかると聞いている。その付近の高野川沿いに、きれいな遊歩道を作ってほしい。	高野川の遊歩道整備につきましては、今後、橋の整備を進める際の課題として検討すべきものと考えます。
・「自然を愛でるころ」を次世代へ受け継ぐには、京都をとりまく山々を京都市民が「愛で」ながら生活できるよう、高さ制限を法的に厳しくしなければならないと思う。「こころ」でもって京都を守ろうとする人ばかりでなく、利益のために京都を破壊する人もいる。呼びかけだけでは京都を守れない。	自然と調和した都市基盤整備の項目において、眺望景観の保全の取組について記述しており、御意見の趣旨に合致していると考えます。
・多くの取組内容、具体例が記載されているが、それぞれに対し、誰が何をしていくのかを具体的に計画し、行政と区民が共有しなければいけない。今の計画案ではそこまで見えないので、実効性があるものかどうか分からない。	行政と区民の皆様とが共汗しながら、計画内容を着実に実現し、実効性のあるものとなるよう取り組んで参りたいと考えます。
・目標その１：高野川のように、川に物を捨てた後のゴミの山が気になる。左京の川床や、寺院の広場のゴミを、月１回でも周辺住民を巻き込んで清掃活動を展開させるべきだ。 - 目標その２：最近よく行われる文化や音楽の集いの場を、今後も無料で参加を呼びかけてほしい。 - 目標その３：老人と幼児、学童との交流の場を増やし、老人に元気を与えてほしい。	清掃活動については、まちの美化の項において記述しており、御意見の趣旨に合致していると考えます。文化や音楽に集いについては、区民ふれあい事業等を今後とも展開して参ります。老人と子どもとの交流機会づくりについては、高齢者の項において記述しており、御意見の趣旨に合致していると考えます。

・単なる政策の羅列ではなく、地方自治の原点である住民自治を今後10年かけて、この左京区でどのように充実を図っていくのか、学区における自治会組織や各種団体等への行政のフォローの方法等について検討してほしい。	市民参加の項において地域の団体との連携により、地域活動の輪を広げることを取組として掲げており、御意見の趣旨に合致していると考えます。
・京都は世界に誇る伝統文化の豊かなまちなので、子どもにそのすばらしさを知る機会を与えてほしい。家庭だけではしつけきれていない現状をせめて公共の学校等で教育してもらいたい。ゴミ出しのルールを守っても、カラスに荒らされてしまうので、その対策を講じてほしい。自転車の駐輪料金を30分程度は無料にしてほしい。また、車が多いので自転車が車道を走るのは危なく、歩道を走ることになる。なんとかならないものか。	子どもが地域の伝統義行事等を学ぶことを取組として掲げており、御意見の趣旨に合致していると考えます。カラスによるごみの散乱被害防止対策については、市が収集するごみ収集場所（概ね5世帯以上で利用されているもの）ごとにカラスネットの無償貸し出しを行っています。駐輪料金は、利用実態等に応じた適切なコスト負担を考えながら、継続的な維持管理ができ、高い稼働率を維持できるような料金体系の在り方を検討して参りたいと考えます。自転車の走行マナーについては、歩きやすいまちにおいてマナー向上に努めることを取組として掲げており、御意見の趣旨に合致していると考えます。
・左京区は、日本全国の中でも最高の文化を持っている土地であることを考えて取り組んでほしい。	御意見の趣旨を踏まえ、左京区の素晴らしい文化を生かした取組を進めて参りたいと考えます。
・左京は、歴史・文化・観光などは他の地域よりは優れているが、マナーの悪い外国人が多いので注意喚起をしてほしい。大学生は他府県にどんどん出て行くため、学生のまちではなく老人のまちになってしまう。また、不況のため、ものづくりのまちも消えてしまう。そのことを良く考えてほしい。	外国人のマナー向上については、文化交流を進めていく中での課題と考えます。大学流出については、単位互換制度の充実など、京都で学びたくなる「大学のまち」の仕組みづくりを進めております。
・本当の「豊かなところ」を子ども達にどう伝えたらよいのか問い続けている。このまちは好きだが、少ししんどい実感がある。	豊かなところを次世代へ大切に伝えるために、区民の皆様との共汗で粘り強く取り組んで参りたいと考えます。

・左京区民の生活を考えているのか疑問である。	京都市基本計画において、「いのちとくらしを守り、安心・安全で幸福を実感できる「支えあい自治が息づくまち・京都」」を掲げており、左京区においても左京区民の生活を踏まえて計画策定を進めておりますので、御理解いただきたいと思います。
・全体的に抽象的すぎる。左京区内のこともよいが、市全体で考えないと無理なものもあり、区内のみにかたよりすぎている。	具体例等も記載するなど、工夫に努めて参ります。また、京都市基本計画において、全市的な観点に基づく政策を掲げています。
・左京区は観光地がたくさんある。住民の暮らしや歴史を基本に、地域住民が培ってきた静寂で落ち着いた京都の特色を活かして観光を考えてほしい。また、住民が身近に文化的活動ができる公的機関の充実を図ってほしい。	観光や文化・芸術の項で、地域の魅力を生かした観光や文化活動の機会づくりについて記載しており、御意見の趣旨に合致していると考えます。
・人の暮らし、まちの営みが長い間かけて作ってきた歴史、穏やかで日本人のこころの故郷に帰るような「静寂な京都」「中小零細企業の文化」など、京都ならではの特色を活かした、大都会にはないまちづくりをしてほしい。それが将来の質の高い観光資源となると思う。また、お年寄りや子どもにやさしい区の運営を目指し、大規模集約型ではなく、住民に近い距離での小さな単位での行政の充実を図ってほしい。道路や公共交通の整備を図って、北部はマイクロバスなどを頻繁に走らせ、北部と南部の交流が増すようにしてほしい。	京都、そして左京ならではの特色を生かしたまちづくりを目指して今後とも取り組んで参りたいと考えます。お年寄りや子どもにやさしい区の運営については、ひとにやさしい温もりのまちづくりの項で様々な取組を記載しており、御意見の趣旨に合致していると考えます。北部と南部の交流促進に向けた道路網整備については、自然と調和した都市基盤整備に記載しており、御意見の趣旨に合致していると考えます。
・基本方針の中に、左京区のような広大な地域の中での区役所や出張所などの在り方のような基本的な問題が取り上げられていない。区役所が松ヶ崎に移転した後の南部地域に対する処置が取り上げられていないのは問題である。	区役所や出張所は、行政サービスや交流の拠点であり、現庁舎の老朽化、狭あい化、保健センターが離れた場所にあることなどの課題を解決するため、松ヶ崎に移転統合することとしています。移転後の南部地域から新庁舎への交通アクセスの改善について、検討を進めております
・第1次意見募集で、「左京区役所の移転について」に関して19件も意見が提出されているのに、意見が全く取り上げられていないのは何故か。具体的取組例の中に、「区役所の跡地に支所的な機能や公共的な施設を設置すること」を入れてほしい。	京都市では、厳しい財政状況の下、庁舎跡地については売却することとしており、支所や出張所を新たに設置することは困難です。なお、市民活動については、岡崎、左京東部、左京西部のいきいき活動センター（旧コミュニティセンター）、証明書については、市役

	所，地下鉄，北大路駅の証明書発行コーナーも御利用ください。
・住民の暮らしや歴史を基本に，地域住民が培ってきた静寂で落ち着いた歴史ある京都の特色を活かして町衆京都の視点での観光を考えてほしい。	観光の項目で地域の魅力を生かした観光支援について記載しており，御意見の趣旨に合致していると考えます。
・高齢者や身体の不自由な人に配慮した，ひとにやさしいまちづくりを目指してほしい。その拠点として南部地域に区役所の支所を置き，将来的には中学校区単位に行政サービス機関を設置して，地域住民のネットワークを束ねる役割を果たしてほしい。小さな単位の方が，住民のさまざまな動向を行政としても把握しやすく，早めに対策を講じることで無駄が省けるはずである。	高齢者，障害のある人にやさしいまちづくりについて項目を掲げており，御意見の趣旨に合致していると考えます。京都市では，厳しい財政状況の下，庁舎跡地については売却することとしており，支所や出張所を新たに設置することは困難です。なお，市民活動については，岡崎，左京東部，左京西部のいきいき活動センター（旧コミュニティセンター），証明書については，市役所，地下鉄，北大路駅の証明書発行コーナーも御利用ください。中学校単位での行政サービス機関については，行財政運営が非効率となり，市民の負担が増大しかねないことから，設置すべきでないと考えます。
・地域住民が，生活を通して作りあげてきた歴史ある京都の特色を生かした観光政策を考えてほしい。	観光の項目で地域の魅力を生かした観光支援について記載しており，御意見の趣旨に合致していると考えます。
・美しいまちづくりとして，街路樹や公的施設の樹木の落ち葉はゴミ袋有料化以来，目に余るものになっている。住民のボランティアに委ねるだけでなく，公的責任において対処してほしい。更にゴミの減量問題では，分別の仕方をもっと検討すべきだと思う。多彩な歴史・文化が息づくまちづくりとするために，住民が身近に文化活動ができるよう，公的施設の充実を図ってほしい。ひとにやさしい温もりのまちづくりということでは，高齢者にやさしいまちづくりができるように，現在の区役所を，中・南部の支所として残してほしい。	まちの美化につきましては，区民の皆様一人ひとりにも取り組んでいただきたい項目として記述しており，御理解いただきたいと考えます。また，区民の文化活動については，文化・芸術の項において，地域の魅力を生かした文化活動の機会づくりについて記載しており，御意見の趣旨に合致していると考えます。京都市では，厳しい財政状況の下，庁舎跡地については売却することとしており，支所や出張所を新たに設置することは困難です。なお，市民活動については，岡崎，左京東部，左京西部のいきいき活動センター（旧コミュニティセンター），証明書については，市役所，地下鉄，北大路駅の証明書発

	行コーナーも御利用ください。
・ひとにやさしい温もりのあるまちづくりを目指すには、南部に支所を置き、高齢者にやさしいまちづくりができるようにしてほしい。現区役所を支所として残し、住民と行政が身近に協力できる左京区にしてほしい。 ・高齢化社会、未来を担う子どもにやさしい区の運営を目指し、大規模集約型でなく、現左京区役所を支所に残すなど、住民に近い距離での小さな単位での行政の充実を図ってほしい。文化の保存・継続・発展のためにも、底辺を広く熱くする必要がある。住民が身近に文化活動ができる公共施設の充実を図ってほしい。	京都市では、厳しい財政状況の下、庁舎跡地については売却することとしており、支所や出張所を新たに設置することは困難です。なお、市民活動については、岡崎、左京東部、左京西部のいきいき活動センター（旧コミュニティセンター）、証明書については、市役所、地下鉄、北大路駅の証明書発行コーナーも御利用ください。
・ひとにやさしい温もりのあるまちづくりを目指すには、南部に支所を置き、おとしよりや子どもにやさしいまちづくりが必要だと思う。それには現左京区役所を支所として残し、なおかつ文化のまちである左京を守るためにも、底辺を広く厚くする必要があると思う。住民が身近に文化活動ができる公的施設を考えてほしいと思う。	京都市では、厳しい財政状況の下、庁舎跡地については売却することとしており、支所や出張所を新たに設置することは困難です。なお、新庁舎は、文化活動が可能な公的施設として、一定の条件下で区民の皆様が利用できる会議室やロビー等を設けることとしています。なお、市民活動については、岡崎、左京東部、左京西部のいきいき活動センター（旧コミュニティセンター）、証明書については、市役所、地下鉄、北大路駅の証明書発行コーナーも御利用ください。
・観光客に焦点を当てるのではなく、住民のために行ってほしい。住民が自分たちのまちを愛し、楽しく暮らせてこそ、お客様をもてなすことができる。1人の意見の裏には数十人の意見がある。とにかく、住民のために基本計画をたてる必要がある。住民の意見を聞き、尊重すべきである。おしつけは何も生まない。	新しい計画の策定に当たっては、素案作成前の段階から各地域の代表等の皆様で構成する左京区住民円卓会議を開催するとともに、計画案に対す意見募集を2回行うなど、区民の皆様の御意見を尊重しながら取り組んで参りました。今後とも区民のための区政を推進して参ります。

地域別の目標に関する御意見

◆議論の参考とさせていただいた御意見

いただいた御意見	御意見に対する考え方
・それぞれの地域ごとの特色が出されており、前向きであるとする。	左京区は南北に細長く、地域ごとに特性が異なるため、地域別の目標を設定した計画としました。
・左京は南北に広く、地域事情も大きく異なっているため、地域別目標を掲げているのは適切である。中部北・中部南・南部と、北部地域とでは人口問題をはじめ地域格差が大きい。そうした課題を解決に向けてこの１０年間で取り組んでほしい。また、地域別の目標だけでなく、具体的取組施策も示してほしい。	左京区は南北に細長く、地域ごとに特性が異なるため、地域別の目標を設定しました。今後１０年間で各地域の課題解決に向けて、区民の皆様との共汗で具体的に取り組んで参りたいと考えます。
・地域ごとの目標を立ててもそれがどのように活用されていくのか分からない。	計画の推進に当たっては、地域別の目標に沿った取組を進めて参りたいと考えます。
・観光客を意識した言葉が多いので、住民中心の目標をたててほしい。住民が生き生きと暮らせば、後のことはついてくる。目標が具体的ではない。	左京区には多くの観光客が訪れることを踏まえながら、住民向けの具体的目標を設けており、御意見の趣旨に合致しているものと考えます。
・北部地域（花脊峠以北）：市街地へのアクセスの整備をしてほしい。 北部地域（花脊峠以南）：都市近郊農業への行政のバックアップの具体化をしてほしい。 中部北地域：新庁舎竣工により、区役所への交通アクセスの充実や周辺道路のバリアフリー化をしてほしい。 南部地域：観光地の電線地中化を検討してほしい。	北部地域と市街地とのアクセスについては、自然と調和した都市基盤整備の項において記述しており、御意見の趣旨に合致しているものと考えます。農業の支援については、自然環境の項で農林業の振興について記述しており、更なる具体化は今後の課題と考えます。新庁舎への交通アクセス、バリアフリー等については、検討を進めております。 電線類の地中化については、歩きやすいまちの項において記述しており、御意見の趣旨に合致しているものと考えます。
・北部地域（花脊峠以北）について、高齢化が進む中、自然・環境・農林業・伝統文化を守り育てることは大変困難である。若者が定住する何らかの施策が必要と考える。	北部地域における定住化の促進については、自然環境の項や自然と調和した都市基盤整備の項で記述しており、御意見の趣旨に合致しているものと考えます。

・中部南部地域のモットーに同感である。一乗寺住宅自治会地域では公共緑地、公園空地などが7～8箇所あり、有志で地域での清掃活動を行っているが、夜間の不法投棄が多く困っている。	まちの美化の項において、不法投棄防止のパトロール等の実施を具体例として記述しており、御意見の趣旨に合致しているものと考えます。
・特に中部地域は役所の移転で行政の中心になるため、今まで以上に北部と行政との連携のある運動を積極的に参加させるよう、働きかけてほしい。一方、南部地域の活動も「みやこめっせ」だけでなく、広く周辺の住民や大学を巻き込んで、行事や運動の展開を広げてほしい。	南北の交流については、交流・共生の項において地域間の交流と情報の共有の支援を掲げており、御意見の趣旨に合致しているものと考えます。また南部地域の活動については、みやこめっせだけでなく、京都会館や国際交流会館等とも連携しながら取組を進めて参りたいと考えます。
・北白川地域はコンビニも少なく、急な買い物の時は少し不便である。観光地図も北白川は空白になっている場合が多い。大切なところを守っていかなければならないと思う。	地域の活性化については、今後の課題と考えます。
・京都大学周辺ゾーンへの取組の方針を書いてほしい。学術・文化の先進的な中心であった地域である。それを保全するような施設を作るなどしてほしい。	観光の項の取組の具体例としてゾーン別観光の支援を掲げ、その中に京都大学周辺を記述しており、御意見の趣旨に合致しているものと考えます。文化保全の施設の設置については、困難と考えます。
・南部地域は商業地化せずに、学術・文化・歴史・自然環境の重点地区とすべきである。グラウンドを壊してホテルを建てるなどの案はもってのほかである。現在ある多くの観光地や文化施設を充実させて、静寂で落ち着いた歴史あるものにしてほしい。	南部地域の目標においては、地域の魅力を更に高め、暮らす人や訪れる人が交流・共生でできる関係づくりを進めることを記述しており、この方向性に沿ったまちづくりを検討して参ります。特に岡崎地域については、現在岡崎地域活性化ビジョンの策定の取組を進めており、地域の将来像については、ビジョン策定の中で検討しています。
・岡崎地域は、スポーツ文化等々、市民の憩いの場となっている。グラウンドを壊してホテルを建てるなどもってのほかである。少なくとも今の環境を壊してはならない。	岡崎地域については、現在岡崎地域活性化ビジョンの策定の取組を進めており、地域の将来像については、ビジョン策定の中で検討しています。
・南部地域は特に高齢者が多いため、歩道を利用するとき自転車が多くて大変危険である。大事故が起こってからでは遅いので、注意用の看板の設置や取り締まりをしてほしい。	歩きやすいまちの項において、自転車の利用マナー・ルールの普及啓発を進めることを掲げており、この取組を進める中で検討すべき課題であると考えます。

・南部地域は外国人居住者が多いので、外国人の方々との融合施策が必要だと思う。	交流・共生の項で区内に暮らす外国人との文化交流を掲げており、御意見の趣旨に合致しているものと考えます。
・岡崎、吉田地域を商業地域化せず、学術・文化・歴史及び自然環境の重点地区としてほしい。	計画では区全体として自然、歴史・文化・学問等を大きな柱として掲げており、御意見の趣旨に合致しているものと考えます。
・岡崎グランドは広域避難所にも指定されており、そこにホテルを建てたりするのは住民の生命軽視でもある。今の落ち着いた雰囲気を損ねたり住環境を大きく変化させたりせず、むしろその特色を生かすべきである。国の総合特区制度を使って岡崎公園一帯を商業観光区域にしないでほしい。	岡崎地域については、現在岡崎地域活性化ビジョンの策定の取組を進めており、地域の将来像については、ビジョン策定の中で検討しています。
・岡崎・吉田地区は京都の中でも学問・文化・歴史のまちとして知られているところである。公園一帯は商業観光区域にはしないでほしい。	
・国の総合特区制度を使って、岡崎公園一帯を商業観光区域にしないでほしい。岡崎・吉田学区を学術・文化・歴史・自然環境の重点地区とし、地域の特色を活かしてほしい。	
・岡崎・吉田地区を商業地域化しないで、学術・文化・歴史・自然環境の重点地区としてほしい。現在の落ち着いた住民の暮らしをこのまま続けていくことが大切だと思う。特に、岡崎公園一帯は京都の良さがあ、観光客も多数訪れる。	
・岡崎地域は商業化せず、学術・文化・歴史・自然環境の重点地区としてほしい。住民の静かな生活の場を守って、その上での観光のあり方を考えてほしい。	
・吉田地区は特に琴棋書画の文化を有する地区である。世界の文化の中心とすべきだ。	世界に誇る左京区の文化が次世代に継承されるよう、今後とも区民の皆様との共汗の下、取組を進めて参ります。

・左京区南部地域を観光客や学生をもてなすだけでなく、住民が作りだす文化や、豊かな生活を目指すことを目標とする文言を入れて、もっと積極的な意味に変えてほしい。青少年の文化活動支援にも力を入れていきたいので、現区役所を公的な文化施設として残してほしい。	南部地域の目標においては、地域の魅力を更に高め、暮らす人や訪れる人が交流・共生できる関係づくりを進めることを記述しており、御意見の趣旨に合致しているものと考えます。また、京都市では、厳しい財政状況の下、庁舎跡地については売却することとしています。なお、市民活動については、岡崎、左京東部、左京西部のいきいき活動センター（旧コミュニティセンター）も御利用ください。
・現左京区役所を公的施設として残し、学術文化芸術の集約と発信の基地として有効利用してほしい。観光のために住民がいるというのは、発想が逆転している。岡崎公園一帯を商業地区にしないほしい。	京都市では、厳しい財政状況の下、庁舎跡地については売却することとしています。南部地域の目標においては、地域の魅力を更に高め、暮らす人や訪れる人が交流・共生できる関係づくりを進めることを記述しており、御意見の趣旨に合致しているものと考えます。岡崎地域については、現在岡崎地域活性化ビジョンの策定の取組を進めており、地域の将来像については、ビジョン策定の中で検討しています。
・左京には青少年活動センターがない。未来を担う子どもたちのことを考えるのなら、子どもたちや青少年の文化活動支援にも力を入れてもらわなくてはならない。そのためにも現左京区役所を残し、納得できる施設を考えてほしい。	子どもや青少年の文化活動については、子どもや伝統行事・伝統文化、文化、芸術の項に方向性を掲げており、御意見の趣旨に合致しているものと考えます。なお、北区、中京区には青少年活動センターがありますので、そちらを御利用ください。また、京都市では、厳しい財政状況の下、庁舎跡地については売却することとしています。なお、市民活動については、岡崎、左京東部、左京西部のいきいき活動センター（旧コミュニティセンター）も御利用ください。

・南部地域は観光客や学生のための地域で、地域住民はその人たちを接待するだけではない。また、区役所がある場所としての意義もあった。それらを正しく表現してほしい。	南部地域の目標においては、地域の魅力を更に高め、暮らす人や訪れる人が交流・共生できる関係づくりを進めることを記述しており、御意見の趣旨に合致しているものと考えます。また、区役所移転後の南部地域から新庁舎への交通アクセスの改善については、検討を進めて参ります。
---	--

左京区基本計画（第２期）の内容を実現していくために、区民の皆様が各自で又は協働で取り組めることに関する御意見

御意見に対する考え方

いただいた御意見につきましては、議論の参考にするとともに、計画の内容を実現していくに当たっての参考とさせていただきます。

いただいた御意見

- ・若手の推進リーダーを育成し、地域に入り推進していく息の長い取組が必要だと思う。
- ・岡崎に京都会館というすばらしい施設があるので、そこで文化フェスティバル等をする文化をもっと広げることができると思う。
- ・単なるボランティアだけでなく、仕事として利益を生み出すようにすれば、皆進んで行動すると思う。
- ・左京は大学が多いので、若い学生の力を地域づくりに生かせるのではないかな。
- ・大学への市民サポーター制度を創設し、各大学は、サポートしてほしい研究テーマを区民に公表し、その内容により区民が研究費用の一部を負担する募金を行うとよいと思う。
- ・文化財の活用、文化的景観を守り続けるために、区民が学習できるような歴史・文化についての講座をテーマ毎にシリーズ化して開催してほしい。他府県から入ってくる多数の学生にも、歴史・文化を学習する重要性を知ってもらう必要がある。新区役所内に文化、芸術に触れることができるスペースがあるとよい。
- ・できる人が、できる時に、できる事を行うことが大切だと思う。
- ・「自然との共生」を実現していくために、地域内の木の種類、野鳥の種類などの地図、看板などをつくれればよいと思う。
- ・外国語を勉強する機会があれば、まち中で外国人と接するのが楽しくなると思う。
- ・「まちなかを歩く日」のような取組をすれば、地域がまとまって一定の目標に向けた取組をすることができるのではないかな。

・退職した高齢者を男女とも、地域の交流の場にもっと引き出させることが重要だと思う。各エリアでの場所提供と講師のボランティア参加で、できるだけ無料に近い低料金で、工作、料理、編み物等の高齢者のコミュニケーションの場づくり、老人の地域の集いの場をいくつも広げるとよいと思う。各学区単位でも奨励されれば、地域の連携はもっとはかれると思う。
・地元の各種団体の相互連携を強めて、共同事業を推進すべきだと思う。
・区民の参加できるワークショップなどを行い、実行委員会など、ある程度の権限を区民に与えてほしい。
・区民が集まって取り組める場所がほしい。地域協議会のような機関を作り、そこに財政的な機能も持たせてほしい。
・近衛中学校で防災訓練をしたが、実際に行うことで実感がわいた。各学区でも防災訓練をやっておけばよいと思う。
・大学との交流等は、左京区ならではのよいアイデアだと思う。地域の青少年補導委員には高齢者が多いが、若い世代が関わっていけばより活性化し、地域のよさが受け継がれていくことになっていくと思う。
・現左京区役所をはじめ、高野の左京郵便局などを、公的施設として有効利用してほしい。
・現区役所に支所機能を残す、地域住民の交流の場所とするなどして、有効利用する。
・現区役所を公的施設として残し、学術・文化・芸術の集約と発信の拠点として有効利用すればよいと思う。また、一部に支所機能を残し、行政との接点をもつことで、区民の参加が容易になるよう配慮されたい。
・左京区の学術・文化・歴史・自然環境の発掘、集約を行ったり、北部と南部の取組の交流を図り、区民が参加して伝統文化の保存や美しい自然を守り発展させる公共の中心の場として、現左京区役所を有効活用していくとよい。文化の向上は、文化活動を行う底辺の広さと厚さが重要だと思う。
・左京区の文化や美しい自然を守る活動を集約する場、地域住民が集まり交流できる公的な場として、現区役所の建物を有効利用していくとよい。
・現左京区役所をそのまま残し、支所機能を持たせたり、文化施設としての使用をお願いしたい。
・現左京区役所を、文化の資料室として常設したり、研究室に利用してもらうなどして、広く開放すればよいと思う。
・北部と南部の取組の交流を図り、区民が参加して伝統文化の保存や美しい自然を守る活動を充実させて、その活動を集約していく必要がある。学術文化芸術の集約の発信の基地として現左京区役所を残し、左京区の発展に有効利用すべきである。
・地域住民の文化芸術活動の掘り起こしを行い、練習や発表の公的な場として現区役所を拠点として有効利用し、住民文化の向上を図っていく。大学や地域の学識者、経験者との住民の交流の場として、現左京区役所を公的施設として有効利用する。左京区の文化や美しい自然を守る活動を集約する公的拠点として、現区役所の建物を有効利用していく。
・左京区の文化や美しい自然を守る公的拠点として、現左京区役所の建物を残し、左京区の発展のために有効利用するべきだと思う。

- ・住民のふれあい、交流を深め共生できる関係作りには、左京区役所の跡地を利用して、コミュニティーセンターを作るとよいと思う。左京区民が８０年慣れ親しんできた建物だからこそ作る意味がある。こんなよい条件を利用しないのは、行政が住民のことを考えていないのではないかと疑問に思う。

その他、計画全般に関する御意見

◆計画（案）に反映させていただいた御意見

いただいた御意見	御意見に対する考え方
・安全防犯について書かれていない。左京の南北の道路が未整備である。バス路線等、左京区の公共設備への交通網を考えてはどうか。	<u>安全防犯については、市民参加の項に記述を追加しました。</u> また、交通網につきましては、自然と調和した都市基盤整備の項や歩くまちの項において掲げており、御意見の趣旨に合致しているものと考えます。
・電柱の地中化、街灯の増加、分娩費の無料化をしてほしい。また、現区役所跡地に出張所を作ってほしい。	歩きやすいまちの項の具体例に電線類地中を掲げており、御意見の趣旨に合致しているものと考えます。また、 <u>御意見の趣旨を踏まえ市民参加の項の具体例に市街灯の設置を追記しました。</u> 分娩費については、近年、健康保険の出産育児一時金の引き上げや健康保険から医療機関への直接支払制度の導入がなされ、出産に係る経済的負担の軽減が図られています。京都市では、厳しい財政状況の下、庁舎跡地については売却することとしています。出張所等の設置については、地理的条件からも困難です。

◆議論の参考とさせていただいた御意見

いただいた御意見	御意見に対する考え方
・一般的に計画というと文字ばかりで堅苦しく読んでもらいにくいので、イラスト等も入れてできるだけ簡潔に、読みやすく親しみやすいものに構成していくべきだと思う。	計画冊子の作成に当たっては、文字だけでなくイラストや写真等も交えながら、読みやすく親しみやすいものとなるよう努めて参ります。
・高齢者や障害者が安心して暮らせるよう、交流を深めるとよいと思う。また、左京区の文化を学ぶ機会をつくるとよいと思う。	高齢者、障害者の交流、文化を学ぶ機会づくりについて記述しており、御意見の趣旨に合致しているものと考えます。

・入口は何でもいいので、どんな人でも広く参加できるように呼びかけていくべきだと思う。	御意見の趣旨を踏まえ、市民しんぶん左京区版ボイス等を通じて広く区民の皆様にも事業への参加等を周知して参りたいと考えます。
・建築物の高さ制限は30mになっているが、京都ホテルや京都駅の高さは60mで建っているのに、かえってでこぼこになっている。制限のため、大学が他府県に移転している。若い人がいなくなれば、大学のまちとはいえなくなるし、他府県が栄えれば税収が減ってしまう。	自然と調和した都市基盤整備の項において、眺望景観の保全の取組について記述しており、御意見の趣旨に合致していると考えます。また、大学のまちの項において大学の発想を生かしたまちづくりを掲げており、御意見の趣旨に合致していると考えます。なお、公益性の高い建築物については、高さ制限の特例許可を行うことができる場合があります。
・ごみ収集について、家庭ごみは午前8時までに決められた当日に出しておくこととなっているが、回収はいつも午後になり、朝出したゴミはカラスが荒らして近所迷惑になっている。また、夜の間に他の人々が当町内会に持ち込んでゴミを捨てている。	ごみの収集については、限られた人員及び機材により市内全域を安全かつ効率的に収集しています。そのため、すべてのごみを午前中に収集することは、収集に要する人員、コスト等を考慮すると困難であることから、ご理解いただきますようお願いいたします。なお、カラスによるごみの散乱被害防止対策については、市が収集するごみ収集場所（概ね5世帯以上で利用されているもの）ごとにカラスネットの無償貸し出しを行っています。また、持ち込みごみに問題については、まちの美化の項においてごみの出し方のルール徹底について記述しており、御意見の趣旨に合致していると考えます。
・中南部地域、南部地域の閑静な住宅地区に、住宅に隣接しての4階建以上の大型学生ワンルームマンションの建設の禁止を法的に規制してほしい。「自然を愛でる」ことのできない環境が作られつつある。東京文京区、守山市、その他多数の学生の町を見習い、30名を目安として、それをこえる学生ワンルームマンションには管理人を常駐させることを法的に規制してほしい。学生との共存は大切だが、多数の学生が自由気ままに生活すると自転車等の問題が起こるのは必至である。	マンションの建築規制については、用途地域や高度地区等の規制により、その地域にふさわしい都市機能の維持増進や居住環境の保全が図られております。管理人の常駐については、今後の課題であると考えます。

・計画（P）実行（D）反省（A）など、検討システムも作成する必要があるのではないかと思います。	御意見の趣旨を踏まえ、計画の進ちよく状況を管理して参りたいと考えます。
・地域の自治活動の中で老人クラブの会員が地域社会への奉仕活動をしているが、健康でないと参加できないので、元気な老人が増えればよいと思う。	元気な老人が増えることを目指して、区民の皆様との共汗の下、まちづくりを進めて参りたいと考えます。
・10年を一区切りとした計画の立派さに感激した。しかし、具体的で細やかで濃い内容のものでも、少しずつ実行できるかが問題である。プランだけに終わらないようにすべきだ。	計画の推進に向けて、行政だけでなく、区民の皆様との共汗の下、計画内容の実現に向けて取り組んで参りたいと考えます。
・京都市の財政状況をふまえ、計画の中で検討されている事業が住民にとって本当にプラスになるのか、役に立つのか十分な精査が必要である。左京区として将来子どもたちに借金を負担させてはいけない。	京都市基本計画において、いのちとくらしを守り、安心・安全で幸福を実感できる「支えあい自治が息づくまち・京都」を掲げており、左京区においても左京区民の生活を考えて計画策定を進めておりますので、御理解いただきたいと考えます。
・区に限ったことではないが、意見を書いたところで、内容や方針にそぐわない意見は取り入れてもらえないように感じる。	いただいた御意見につきましては、その内容を踏まえ、可能なものは計画に反映するとともに、他のものも審議の参考にさせていただいています。
・計画の中心に、住民本位に考えて作り上げる視点が欠けているのではないかと。観光客や各国からの来客をこころをこめてもてなし、滞在中気持ちよく過ごしてもらえよう配慮するのは当然のことであるが、まずは区民が快適に過ごせる環境づくり、とくに今後むかえる少子高齢化社会を考えて、住民が安心安全に生活できる環境づくりが優先されるべきと考える。また、意見募集の期間が短いと思う。	新しい計画の策定に当たっては、素案作成前の段階から各地域の代表等の皆様で構成する左京区住民円卓会議を開催するとともに、計画素案や計画案に対する意見募集を計2回行うなど、区民の皆様の御意見を尊重しながら取り組んで参りました。今後とも区民のための区政を推進して参ります。また、京都市基本計画において、いのちとくらしを守り、安心・安全で幸福を実感できる「支えあい自治が息づくまち・京都」を掲げており、左京区においても左京区民の生活を考えて計画策定を進めておりますので、御理解いただきたいと考えます。なお、意見募集の期間につきましては、計画素案と計画案について計2箇月間の募集期間を設けておりますの

	でご理解いただきたいと思います。
・左京区に住民票がある人で見ると、居住実態で見ると、定義を明確にしてほしい。20歳～24歳が多いのは住所を置かない学生が含まれているからである。地域の高齢化率を考えると重要になる。	計画については、住民票の有無ではなく、実際に居住されている方を主に想定しています。
・様々な意見をまとめるのは大変だと思うが、住みやすいまちにすることが一番である。	様々な区民の皆様の御意見を踏まえ、まちづくりに取り組んで参りたいと考えます。
・具体例を実行し、住みやすいまちとなることを願っている。	区民の皆様との共汗の下、計画内容の実現に取り組んで参りたいと考えます。
・住民のために開かれた文化施設をつくってほしい。	新庁舎には一定の条件下で区民の皆様が利用できる会議室やロビー等を設けることとしています。
・京都市動物園のトイレの数が少ない。団体利用者に対応できるよう、トイレの整備をしてほしい。	京都市動物園のトイレ整備につきましては、新「動物園構想」において、「清潔、快適な利便施設の再整備」を掲げており、平成27年度の完成を目指して整備を行います。
・ごみの収集時間が遅いのが気になる。また、消火器は個人で購入するには負担が大きい。区民一人ひとりが出来る事に目を向け、10年後も安心して健康的に暮らせるよう、日々の生活の中で実践していきたいと願っている。	ごみの収集時間については、限られた人員及び機材により市内全域を安全かつ効率的に収集していますので、ご理解いただきますようお願いいたします。消火器につきましては、個人負担となりますが、命と財産を守るためにも各家庭での設置をお願いしたいと考えます。今後とも10年後の左京の姿を踏まえて、区民の皆様との共汗で取り組んで参りたいと考えます。
・高齢化も進んでいるので、日々の暮らしが充実できるような提案をしてほしい。説明会を小規模で開催するなど、区民への情報伝達を徹底してほしい。	高齢化の項において様々な取組を掲げており、御意見の趣旨に合致していると考えます。また、区民への情報伝達につきましては、左京ボイスによる広報、区役所ホームページ掲載、多くの公共施設における冊子の配架等を通じて徹底を図って参りたいと考えます。
・計画全般は教科書的である。ファンタジーのようである。もっと具体的なことを書いてほしい。	計画の取組内容については、具体例等も記載するなど、工夫に努めて参ります。基本計画は10年間を計画期間としており、個々の事業は運営方針に掲げて参りたいと考えます。

・計画案への意見募集の結果がほとんど反映されていないように思う。シンポジウムの案内も遅く、多くの人が参加できにくくなっていた。もっと多くの区民が参加できて、意見も交流できる場を作してほしい。	いただいた御意見につきましては、その内容を踏まえ、可能なものは計画に反映するとともに、他のものも審議の参考にさせていただいています。シンポジウムについては、10月下旬から区役所ホームページへの掲載、チラシの配布などを行い、当日は150名の方に御参加いただくことができましたが、左京ボイスへの掲載が直前になりました。今後はより早期の広報に努めます。また、パネルディスカッションにおいて質疑応答の時間を設け、区民の方々との意見交換を行いました。
・現左京区役所の建物の保存と公的な施設としての有効活用をしてほしい。南部地区に区役所支所を作してほしい。住民の意見を聞く機会が不足していると思う。	市民活動については、岡崎、左京東部、左京西部のいきいき活動センター（旧コミュニティセンター）、証明書については、市役所、地下鉄、北大路駅の証明書発行コーナーも御利用ください。また、計画の策定に当たっては、素案作成前の段階から各地域の代表等の皆様に構成する左京区住民円卓会議を開催し、計画素案や計画案に対する意見募集を計2回行うなど、住民の皆様の御意見を聞く機会を設けて取り組んでおり、御意見の趣旨に合致していると考えます。
・区役所の新庁舎ができることはおめでたいが、場所が悪い。民間の会社や施設等の跡地は、従来から区で土地だけでも確保するようにしておけば、いつでも有効利用ができた。もう少し先を見据えた計画が必要である。	公共用地の先行取得につきましては、事業用途や事業化の時期を精査し、財政状況を踏まえて行っております。
・豊かな暮らしを支える行政を身近に感じることができるように、左京区南部地域の住民の願いを実現できるように、現左京区役所の建物の保存や、公的な施設としての有効活用を基本計画に入れてほしい。	京都市では、厳しい財政状況の下、庁舎跡地については売却することとしており、支所や出張所を新たに設置することは困難です。なお、市民活動については、岡崎、左京東部、左京西部のいきいき活動センター（旧コミュニティセンター）、証明書については、市役所、地下鉄、北大路駅の証明書発行コーナーも御利用ください。

・現左京区役所の建物の保存と公的な施設としての有効活用を基本計画に入れてほしい。また、意見募集の周知徹底をしてほしい。募集期間も短く、ほとんど知られていない。内容の説明会、意見の聞く機会を何度も行ってほしい。	京都市では、厳しい財政状況の下、庁舎跡地については売却することとしており、支所や出張所を新たに設置することは困難です。なお、市民活動については、岡崎、左京東部、左京西部のいきいき活動センター（旧コミュニティセンター）、証明書については、市役所、地下鉄、北大路駅の証明書発行コーナーも御利用ください。また、意見募集については、左京ボイス7月15日号と11月15日号の第1面に掲載するとともにホームページにも掲載しました。区民の皆様の意見を聞く機会として、計画素案と計画案の2回に渡って意見募集を行いました。
・住民の意見を聞く場や時間が不足していると思う。説明会を夜に行うなどしてほしい。住民と行政が身近に協力できる左京区にするため、現在の区役所を支所として残してほしい。	新しい計画の策定に当たっては、素案作成前の段階から各地域の代表等の皆様で構成する左京区住民円卓会議を開催するとともに、計画案に対す意見募集を2回行うなど、住民の皆様様の御意見を尊重しながら取り組んで参りました。京都市では、厳しい財政状況の下、庁舎跡地については売却することとしており、支所や出張所を新たに設置することは困難です。なお、市民活動については、岡崎、左京東部、左京西部のいきいき活動センター（旧コミュニティセンター）、証明書については、市役所、地下鉄、北大路駅の証明書発行コーナーも御利用ください。
・あくまでも住民が主人公となり、観光客を温かく迎え入れられる余裕のある市民でいられることが大切だと思う。それには、住民が暮らしやすい、健康で美しい環境が必要だと考える。また、京都市民には京都市民の誇りがあり、京町衆の培ってきた歴史を生かし育てる必要があると思う。これらのことを実現するために、①京都市民の文化を育む文化的な施設を学区ごとにつくる。②左京区南部は人口比率が高いので、区役所移転後も出張所を残し、区民に不便をかけないようにする。③美しい環境づくりは非常に大切で、いい加減なゴミ収集では真に	学区毎の文化施設設置は、本市の財政状況を考えると極めて困難な状況と考えます。なお、新しい左京区役所の庁舎には一定の条件下で区民の皆様が利用できる会議室やロビー等を設けることとしています。京都市では、厳しい財政状況の下、庁舎跡地については売却することとしており、支所や出張所を新たに設置することは困難です。なお、市民活動については、岡崎、左京東部、左京西部のいきいき活動センター（旧コミュニティセ

美しいまちは作れない。④岡崎公園のグラウンドをなくしホテルを建てる話を聞いているが、一部の金持ちだけを対象にしたようなことには反対で、地元の経済は潤わない。以上のことを検討願いたい。	ンター)、証明書については、市役所、地下鉄、北大路駅の証明書発行コーナーも御利用ください。次に、美しい環境づくりにつきましては、まちの美化の項に区民一人ひとりが美しいまちを目指すことを掲げるとともに、引き続き適切な収集作業に努めて参ります。岡崎地域については、現在岡崎地域活性化ビジョンの策定の取組を進めており、岡崎地域の将来像については、ビジョン策定の中で検討しています。
・左京区の自然、伝統文化を支えてきたものは、左京区民の日常的な暮らしと活動である。学生や観光客を迎える気持ちは大切だが、日々の暮らしが充実していてこそできるものである。豊かな暮らしを支える行政を身近に感じることができることが大切である。岡崎地域の観光誘致には反対である。住民の暮らしの中から生まれてくる文化こそ世界に通用し、歴史に残るものと言える。現区役所の建物の保存と有効活用を基本計画に入れてほしい。	左京の自然や伝統文化を生かしたまちづくりを目指し、区民の皆様の豊かな暮らしを支えることができるよう、今後とも取り組んで参りたいと考えます。岡崎地域については、現在岡崎地域活性化ビジョンの策定の取組を進めており、岡崎地域の将来像については、ビジョン策定の中で検討すべき課題であると考えます。京都市では、厳しい財政状況の下、庁舎跡地については売却することとしています。なお、市民活動については、岡崎、左京東部、左京西部のいきいき活動センター(旧コミュニティセンター)、証明書については、市役所、地下鉄、北大路駅の証明書発行コーナーも御利用ください。
・左京区の自然、伝統文化を支えてきたものは、左京区民の日常的な暮らしと活動である。豊かな暮らしを支える行政が身近に感じることができるように、左京南部地域の住民の願いを実現できる、現左京区役所の保存と公的な施設としての有効活用を、基本計画に入れてほしい。	左京の自然や伝統文化を生かしたまちづくりを目指し、今後とも取り組んで参りたいと考えます。京都市では、厳しい財政状況の下、庁舎跡地については売却することとしています。なお、市民活動については、岡崎、左京東部、左京西部のいきいき活動センター(旧コミュニティセンター)、証明書については、市役所、地下鉄、北大路駅の証明書発行コーナーも御利用ください。

・豊かな暮らしを支える行政を身近に感じることができるように、左京区南部地域の住民の願いを実現できる現左京区役所の建物の保存と、公的な施設としての有効活用を基本計画に入れてほしい。市民しんぶんや左京ボイスは不親切に思う。住民の意見を聞く場が不足していると思う。もっと浸透させるには、町内回覧などを利用すればよいのではないかと思う。	京都市では、厳しい財政状況の下、庁舎跡地については売却することとしています。また、左京ボイスが不親切であるという御指摘につきましては、分かりやすい紙面づくりを心掛けて参ります。また住民の意見を聞く場が不足しているとの御指摘ですが、計画の策定に当たっては、素案作成前の段階から各地域の代表等の皆様で構成する左京区住民円卓会議を開催するとともに、計画素案と計画案に対す意見募集を計２回行うなど、住民の皆様の御意見を尊重しながら取り組んでいます。
---	---